

神戸協同病院の緩和ケア病棟開設を成功させよう

vol.3

緩和ケア病棟開設に向けて、公開講座や班会での学習会が取り込まれています。

今回は、その中から出された質問や疑問にお答えします。

Q1 緩和ケア病棟とは？

がんによる痛みや様々な不快な症状を和らげるとともに、ご家族を含め、患者さんの心理的・社会的な苦しみや悩みを和らげ、その人らしく充実した日々が送れるようなケアを専門的に行うところです。

基本的には、抗がん剤・放射線治療中の方は、入院対象にはなりません。

Q2 がん以外の難病などの病気で利用できますか？

現在の保険診療上、緩和ケア病棟の利用対象となる患者さん

は、「主として苦痛の緩和を必要とする悪性腫瘍の患者または後天性免疫不全症候群（エイズ）の患者」となっています。従って現状では、その他の病気で

利用はできません。難病等の病気については、病院のソーシャルワーカーや保健所等の行政相談窓口にお問い合わせください。※神戸協同病院では悪性腫瘍のみが利用の対象となります。

Q3 入院するにはどうしたらいいでしょうか？

緩和ケア病棟に入院するには、まず外来で緩和ケア担当の医師の受診が必要です。

また、他の病院で治療中、入院中の方は、診療情報提供書（紹介状）が必要になります。

Q4 入院までどのくらい待つのでしょうか？

その方の病状や、入院の予約

状況、ベッドの空き状況などで、入院までの期間は変わってきます。尚、病状やご家庭の状況で急に入院が必要になった場合はご相談ください。

Q5 入院費用はどのくらいかかりますか？

一般の入院と同じで健康保険が適用されます。「高額療養費」の申請をすれば、70歳以上の方は、自己負担は1ヶ月あたり4万4000円です。70歳未満の方は、自己負担が約8万8000円程度となります（金額は目安です。所得によって異なります）。この他に、食事代の標準負担額（一食200円）がかかります。病院によってはさらに、差

額ベッド料が必要な場合もあります。神戸協同病院では、一般病棟でも緩和ケア病棟でも差額ベッド料はいただいていません。

Q6 病室は広くありますか？ 広さはどれくらいですか？

19床（全室個室）で開設する予定で、一般の病室に比べ広くなります。また、病棟内には、家族室、キッチン、ダイニング等も設置します。

Q7 緩和ケアは入院しないといけないのですか？

ご自宅などで往診や訪問看護を受けたり、外来通院をしたりという形でも「緩和ケア」を受ける事ができます。例えば、緩和ケア病棟に入院して「家に帰りたい」と希望があった場合、在宅での往診や訪問看護などで継続したケアを受けることができます。



緩和ケア病棟開設統括責任者
安藤 元江